

賛助会員募集趣意書

拝啓 貴社におかれましては益々ご発展の事とお慶び申し上げます。平素はお世話になりまして厚く御礼申し上げます。

日本小児感染症学会は、「日本小児ウイルス病研究会」と「日本小児感染免疫学研究会」を前身とし、この2つの研究会が合流して、1987年（昭和62年）に第19回日本小児感染症学会として新たに発足しました。それから既に30年を経て、2016年の時点で、会員数は約3,000名を抱える大きな学会となっています。小児感染症の専門家の主たる学会として、基礎研究、臨床研究と臨床現場（診療）の連携を図りながら、小児感染症の分野から小児医療に貢献するべく活動しています。また、2019年（令和元年）10月25日の理事会と評議員会、10月27日の会員総会を経て、任意団体である日本小児感染症学会を解散し、2020年（令和2年）4月1日、一般社団法人日本小児感染症学会へと移行致しました。

小児の感染症と免疫領域の専門性を高め、標準的治療の普及、小児感染症認定医・指導医（専門医）制度の拡充、若手医師の教育と啓発に力を注いでいます。また、学術集会の開催、年4冊の機関紙「小児感染免疫」の発行、海外からの専門家を招いてのセミナーの開催や教育セミナー、若手優秀論文賞や学会賞などの活発な活動を続けています。

しかし、これらの計画の実行や活性化には多額の経費を要し、賛助会員の方や機関誌「小児感染免疫」広告掲載を含め、多方面からの深いご支援とご協力を仰がざるを得ません（なお、機関誌広告掲載料金は、1/2ページで¥30,000、1ページで¥50,000となっておりますが、年1回賛助会費口数に応じて無料掲載スペースを設けており、1口では1/2ページ、2口以上では1ページとなっております）。

つきましては、本学会の趣意にご賛同いただける皆様には、賛助会員としてのご支援をお願い申し上げます。諸費ご負担の多い折から誠に恐縮でございますが、趣志にご賛同いただき、何卒ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

令和4年5月吉日

一般社団法人 日本小児感染症学会
理事長 森内 浩幸

記

一般社団法人 日本小児感染症学会 賛助会員 年会費 一口 50,000円（一口以上）

申込先 一般社団法人 日本小児感染症学会 事務局

E-mail: jspid-office@[]bunken.co.jp ※@[]を@に変えてご送信ください。

以上